データの説明

データ番号 (コモンズセンターで記入します)	DPPSCdbp_2018-3
タイトル	コンパクトシティを目指した都市デザイン戦略のための都市構造評価指標
作成者	渡辺 俊・川邊 晃大
問い合わせ先	筑波大学システム情報系社会工学域 shun@sk.tsukuba.ac.jp
概要(データの内容や作成方法)	相対的人口集中地区(RDID) 日本全国市区町村 1995年、2000年、2005年、2010年、2015年
更新履歴(版・ファイル名・年月日)	
データの形式	ArcGIS シェープファイル
データのサイズ	4.13 GB ファイル数:108,287 フォルダー数:23
利用上の注意(メタデータの利用など)	
関連報告書・論文等	川邊晃大・渡辺俊:情報量損失最小化法を応用した相対的人口集中地区の抽出ー都市縮小・拡大市町村数の経年変化分析ー、第41回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集、日本建築学会、2018年12月
備考	